

6月に入り暑くなってきました。先月久しぶりに海に行ったのですが、昨年はこの頃まだ海に行かなかったので分からなかったのですが、クラゲがたくさん漂っていて、暢気にサーフィンをしていたら気づかないうちに刺されてしまいました。

皆様如何お過ごしでしょうか。

5月から野党PASTEFのソンコ党首の裁判を巡り抗議行動が活発化してきました。6月1日の抗議行動の際は、本使はルネッサンス像のある高台からダカールの様子を視察しましたが、ダカール中心部や郊外において複数の場所から黒煙が上がっていて、また催涙弾の音も聞こえてきて、抗議活動の様子が見えました。

目下の政治情勢はセネガル内政上の問題でありセネガル人が自身の努力で解決すべきもので、本使として見解を述べることは控えますが、死者が出たことについては心を痛めています。今回のメールマガジンでは古屋典子様素晴らしい手記を寄せて頂いてますが、古屋様は本使の大先輩である古屋大使の奥様であり、今でもセネガルの子供達の健康や教育を増進するために石けんや本を配る等の慈善活動をされています。この古屋夫人の活動も、そして日本がセネガルに対して行っている経済協力はセネガル人一人一人を尊重し、大切にしようとするものです。突き詰めれば人の命を守るための活動とも言えるでしょう。セネガルはまだ発展途上ですが人の命は変わりなく大切なものです。そう考えると政治的な問題が引き起こす衝突により多くの若者が亡くなったことは大変悲しいことだと思います。セネガル人が自分たちの努力でこれ以上の犠牲者を出すことなくこの難局を早期に解決することを願っています。

現下の緊張する治安情勢に対応して大使館は邦人の皆様の安全確保を最優先に取り組んでいます。このメールを読まれている方には治安状況に関する領事メールが届いていると思いますが、これも皆様の安全確保につながる重要な大使館の活動です。先週はセネガル政府当局の規制によりSNS通信に多大な支障が出て、邦人の皆様は一般情報の入手に苦労されたと思いますし、情報が無いために不安がつのられたのではないのでしょうか。大使館は日頃から治安情勢について各方面から情報を収集し、その情報を吟味して、皆様の安全に係る「正確」な情報を「速やか」に発信することを心がけています。特にSNS通信に支障がある状況では大使館からの情報発信が益々重要だと考えています。

本使にとって「正確」な情報をいかに「迅速」に伝えるか、が現在直面している悩ましい問題です。大使館は多くの情報を入手しますが、その中にはフェイクの情報もあり、精巧に偽装されたフェイクニュースについては真偽を判別することが難しい時があります。これまで大使館としては不正確な情報をお伝えすることで皆様を混乱させることのないよう、領事メールの発出に当たっては事実関係の確認を重視してきました。今のところ大使館としてはこの方針で対応していく考えですが、仮に今後緊張が更に高まり事態が早く動く状況になる場合には、事実確認に時間がかかって情報を伝えられないより、何らかの情報を迅

速にお伝えした方が良くと判断することもあるかもしれません。そのような時には「未確認情報ですが・・・」と冒頭お断りした上でとりあえず皆様へ一報を伝えるようなことも考えられます。大使館としては、皆様に無用の混乱を与えることなく、かつ適切なタイミングで情報を提供すべく、状況に応じて臨機応変に対応していく所存です。

なお、このメールの下記に皆様に留意して頂きたいことをまとめていますので、以前のメールでお伝えしたことが主ですが、改めて是非ご一読ください。

6月は雨期直前で、また夏休みを控えて、業務でも娯楽でも様々なイベントが開催される楽しい時期です。当館関係でも様々なイベントが予定されています。10日に予定されていた日本人会の運動会が延期されてしまったことは残念ですが、それ以外にもまだまだ楽しいイベントが予定されていますので、治安状況がある程度安定化しこうしたイベントが予定通り開催されることを祈念しています。